

【月案】 1月・1歳児

今月の保育のポイント

- 子どもの要求や意欲が以前に比べて出てきている時期なので、尿意を知らせる、床の細かいゴミに気づきゴミ箱に捨てるなど、身の回りの簡単なことを自分でやろうとする行為を認めていき、遊びにならないように様子を見ながらねらいに組み込むと良い。
- 今まで苦手だったものが食べられたり、色々な食材や物に興味をもつ時期なので、固有名詞を多く話し、絵本を読むときでも指さして「これはサツマイモ」などの話を入れると良い。
- 人への興味関心も高まるが、まだ自分で制御できなかつたり、適切な関わり方が分からず、強く握る、押すなどの行為が目立つ。保育士は間に入り、子どもの意欲を見守りながらも子ども同士の関係に配慮しながら関わる。

月のねらい

- 健康や安全に過ごせるよう見守られる中で、元気に身体を動かして遊ぶ。
- 興味のある遊びに夢中になり、存分に遊び込む。
- 保育者を仲立ちとしながら、楽しい雰囲気の中で友達と関わりを持つ。
- お餅に触れ、感触や食感を楽しむ。
- 休み明けの生活リズムに留意しながら、心地よく園生活を送れるようにする。
- 保育者に見守られながら簡単な身の回りのことに取り組む。
- 正月遊びに興味を持ち、保育者と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 単語や2語文等で気持ちを伝え、伝わる喜びを感じる。

週のねらい

その1

- 1週目：生活リズムを整え、室内外で元気に遊ぶ（養護）
- 2週目：様々な遊びに興味を持ち、やってみようとする（教育）
- 3週目：好きな遊びを見つけ、存分に遊び込む（教育）
- 4週目：保育者や友達と関わりを持ちながら遊びや活動を楽しむ（教育）

その2

- 1週目：お正月ならではの伝承遊びや冬の遊びを楽しむ（教育）
- 2週目：自分なりの言葉や仕草で保育者や他児とのやり取りを楽しむ（教育）
- 3週目：インフルエンザなどの感染症に注意し、健康に過ごせるようにする（養護）
- 4週目：リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ（教育）

その3

- 1週目：休み中に生活リズムが崩れていることを考慮し、無理なく園生活を取り戻せるようにする（養護）
- 2週目：餅つき会や鏡開き会に参加し、餅の感触を楽しむ（教育）
- 3週目：手洗いや着替え等、簡単な身の回りのことをやってみようとする（教育）
- 4週目：走る・のぼる・おりる等、体を動かして遊ぶことを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：保育者と一緒に手洗いや水分補給等を行い、健康に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：手首や手先を使った遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：絵本やシアターに興味を持ち、見たり言葉にすることを楽しむ（教育）
- 4週目：冬の自然に興味を持ち、氷や霜・枯れ葉等で遊ぶことを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- スプーンやフォークを使って上手に食べ進める子もいれば、手づかみで食べる子どももいる。
- 好き嫌いがでてきており、苦手な食べ物は嫌がる姿がある。
- オムツに排泄したことを保育者に伝えようとする子どもがいる。また、トイレに興味を持ち、自ら座ろうとする姿もある。
- 着替えを自分で行う意欲が生まれ、着替えを持ってきたり着脱しようとしていたりしている。
- クリスマス会に参加し、楽しい雰囲気を感じながら様々な人と関わりを持っていた。
- 冬の感染症に罹患し症状が出ていたり、欠席する子がいた。
- 食後に口を拭こうとしていたり、エプロンを外す。
- 「自分で」と保育者の援助を嫌がるが増えてきた。
- 鼻水や咳の症状で眠りが浅くなったり、泣いて起きることがある。
- 戸外に出ることを喜び、体を動かして遊んだり枯れ葉や砂等に触れることを楽しんでいる。

教育（遊び）

- 友達が遊んでいる玩具や遊びに興味を持ち、一緒に遊ぼうとする姿がある。
- マジックやクレヨンなどを使って、なぐり書きを楽しんでいる。
- 声を発したり走ったりすることを楽しみ、元気に身体を動かして遊んでいる。
- 自分の気持ちを態度や簡単な言葉で表現し、保育者に伝えようとしている。
- 自分の好きな遊びを何度も繰り返しながら楽しんでいる姿がある。
- 保育者の働きかけのもと、見立て遊びを楽しんでいた。
- 友達を認識し、「○○ちゃんいた」「来たね」等と知らせる。
- 友達が遊んでいる玩具で遊びたい気持ちから思わず取ってしまう。
- 保育者の歌や手遊びを真似しようとする。
- 小麦粉粘土、スライム等で集中して遊んでいる。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：安心して過ごせる環境の中で、健康的に過ごす。（健康）
- **環**：換気や清掃をこまめに行い、室内を常に清潔に保つ。
- **活**：保育者が美味しそうに食べる姿を見て苦手なものにも興味を持ち、自ら食べてみようとする。（健康）
- **環**：保育者が美味しそうに食べることで、子どもも「食べてみたい」と思えるよう援助していく。苦手な食べ物に親しみが持てるよう、野菜に触れる機会を設ける。

- **活**：スプーンやフォークを使って食べようとする。（健康）
環：食事の際には、手づかみでも自分で食べる姿を認めていく。時々スプーンやフォークを勧め、使えたらたくさん褒めることで、子どもが自ら使おうとする意欲を引き出す。
- **活**：衣服の着脱など身の回りのことを、自分でやってみようとする。（健康）
環：子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、食事も着替えも手伝い過ぎないように気をつける。室内外の気温に合わせて衣類の着脱を声掛け、必要に応じて援助する。
- **活**：お餅つきに参加し、みんなで集まって活動する楽しい雰囲気を感じる。（環境・人間関係）
環：手拭き用の布巾を準備し、食事の際に手が汚れたらすぐに拭けるようにしておく。
- **活**：築いてきた信頼関係や楽しかったことをもとに、生活に期待をもって次の活動へ気持ちを切り替える。（健康・人間関係）
環：～して楽しかった→次がある（満足→期待）のつながりを積み重ね、「ご飯食べたら寝る」等、次の行動への見通しを納得してできるよう、子どもの自分で行った「～のつもり」に共感したり、楽しかった行動を覚えて何回も行うことを否定せず「～は楽しかったね」と言葉にして丁寧に受け止める。
- **活**：「後で、少しだけ、もう少し」等、芽生えてきた気持ちを保育者に受け止めてもらい、その中で自分で選択して行動をする。（人間関係・言葉）
環：子どもが出来ないと思うと「しない!」、出来ることでもこちらが促すと「しない!」。このような子どもの反応に対し、「そうか、分かったよ」と否定せず寄り添い、「じゃあ、あっちです?後です?」などの選択を子どもに提示したり、「・・・も、～もしようね」と肯定的に受け止め、見守る。
- **活**：自分でできる身の回りのことを、大人に受け止めてもらいながらやってみる。（健康）
環：子どもが出来ることをわざと「やって」と甘える場合は、もう出来ることが分かっているので、自分ですることの達成感は薄く、自分の要求を受け入れてもらうことが大事である可能性が高いので、途中まで手伝って「後は自分でどうぞ」とバトンを渡すように援助をする。
- **活**：保育者に手伝ってもらいながら手を洗ったり鼻をかんだりする中で、清潔にする心地よさを感じる。（健康）
環：自分でやってみようとする姿を見守り、必要に応じて手を添え「綺麗だね」と笑顔で言葉かけしながら気持ち良さを感じられるようにする。嫌がる時には、気分転換を図り無理なく取り組めるよう関わる。
- **活**：保育者に排泄したことを知らせたり、トイレで排泄してみようとする（健康）
環：排泄の有無に関わらず、トイレに座る経験を積み、トイレトレーニングに対する意欲を高められるようにする。トイレで成功した時には大いに褒めることで喜びに繋げる。
- **活**：保育者と一緒に遊んでいた玩具を片付け、片付けることの気持ち良さが芽生える（健康）
環：片付ける場所を写真や絵を用いて分かりやすくしておき、「車のお家はどこかな?」と問いかけながら、意欲を引き出す。保育者も一緒に片付け、綺麗になることは気持ちが良いという感覚を育めるようにする。
- **活**：自分の気持ちを言葉や身振りで伝えようとし、伝わることの喜びを感じる。（言葉・人間関係）
環：一人ひとりの発声の仕方や身振り等を丁寧に汲み取って言葉で返答することで伝わったという喜びや言葉の獲得に繋げる。
- **活**：体をたくさん動かして遊び、食事を楽しみにしたり心地よく眠る（健康）
環：追いかけっこや凧遊び、マットや巧技台等を使用し寒い季節の中でも存分に体を動かせるよう工夫することで、空腹を感じ「おいしい」と楽しく食事が出来るようにしたり、心地よい睡眠に繋がれるようにする。
- **活**：指差しをしたり「これは（なあに）?」と問いかける（言葉・環境）
環：周りへの興味を丁寧に受け止めながらはっきりとした発声・言葉で返答し、認識や言葉の獲得に繋げる。

- **活**：保育者の言葉かけで食後に手や口を拭こうとする（健康）
環：自分でやってみようとする姿を見守る。鏡を用意し、一緒に確認していくことで清潔にする気持ち良さが芽生えるよう関わる。
- **活**：ボタンはめやスプーン、フォークを使った遊びを楽しむ（健康・環境）
環：生活に繋がるような遊びを用意し、楽しい雰囲気の中で生活動作を身に付けていけるよう工夫する。出来たことや楽しさに共感し、達成感や喜びに繋げる。
- **活**：自分の持ち物や場所が分かり、出し入れしたり、座ったりする（健康・環境）
環：絵やシール等で分かりやすいようにしておき、やってみようとする気持ちを育てる。「しまってくれてありがとう」「自分の場所が分かって凄いな」と笑顔で褒め、自分と人の物の認識、区別する力に繋げる。

教育（遊び）

- **活**：室内外で元気に身体を動かす。（健康）
環：好きな遊びを存分に楽しめるよう、遊びや活動には十分な時間をとる。
- **活**：つかまる、走る、登るなど身体を使った遊びを通して、様々な身体の使い方を経験する。（環境・健康）
環：つかまる、ぶら下がる、走るなど身体を動かす遊びを取り入れ、身体を動かす楽しさを味わえるようにする。
- **活**：絵本や手遊びなどで言葉に親しみ、真似することで発語を楽しむ。（言葉）
環：簡単な言葉や繰り返しのある言葉が楽しめる絵本を用意し、子どもが真似して発語してみたいくなるようにする。
- **活**：自分の気持ちを「やだ」「やる」などの簡単な言葉で表し、保育者に伝えようとする。（言葉・人間関係）
環：気持ちが言葉で表現できずに泣いてしまったり、友達を叩いたりしてしまう子には寄り添い、代弁しながら気持ちを受け止める。
- **活**：友達と関わりを持ちながら活動や遊びを楽しむ。（人間関係）
環：友達と一緒に楽しめる活動や遊びを取り入れ、友達と関わりが持てるようにする。
- **活**：異年齢児との関わり、さまざまな人と関わりを持つ。（人間関係）
環：子どもにとって負担がないかどうか見ておき、安心して無理なく関わられるように近くで見守るようにする。
- **活**：つもり、見立て遊びを通して、「ちょっと怖いけど面白い」等、感情の揺れ動きを楽しむ。（人間関係・表現）
環：追いかっこ等を通し、感情の揺れを楽しむ遊びの仕掛けを行っていく。鬼の角を用意し、頭につけて追いかけたり、本の世界を遊びで再現するなど、経験を共有しながらつもりの世界を楽しむ。
- **活**：やりたいことを大切にし、安心感の中で自分の思いを自由に表現する。（言葉・表現）
環：子どもが「ピアノを触りたい、車が好き」などの生活動作を見て、ダンボールで模擬ピアノや車を作っておき、遊びの中に置き、自分でやってみたいことを再現できる環境を用意する。
- **活**：自分が主導権をもって保育者や友達と一緒に遊び、発見や驚きを分かち合う。（人間関係・環境）
環：子どもが見つけたものや発見を大事にできるよう、あえて見守りながら子ども同士の関係性を育てるようにし、「せんせいみて！」と言葉や身体の実現や信頼関係を大事にする。
- **活**：好きな遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ（健康・環境）
環：一人ひとりが興味がある遊びを把握しながら、いつでも遊べる環境・十分な時間・広い空間・一人になれる空間を用意し、集中する力や満足感に繋げる。
- **活**：枯れ葉や霜、雪等の冬の自然に触れて遊ぶことを楽しむ（環境）
環：保育者が触れて遊ぶ姿を示し興味を引き出す。「パリパリ音がするね」「冷たいね」と気づきに共感しながら冬の自然に触れる楽しさや面白さに繋げる。

- **活：**握る・ちぎる・摘まむ等手先を使って遊ぶことを楽しむ（健康・表現）
環：お絵かきや粘土、スライム、シール等を用意し、手首や手指を使って遊べるようにすることで発達に繋げる。
- **活：**毛糸やビニール、スタンプ等様々な素材に触れることを楽しむ（環境）
環：「長いね」「いろいろな色があるね」と気付きを代弁し、様々な素材に対する興味を引き出し、触れて遊ぶ楽しさや面白さ、感性の育ちに繋げる。
- **活：**保育者の歌や踊りを模倣し、音楽に触れる心地よさや楽しさを感じる（表現・環境）
環：笑顔で歌をうたったり、体を大きく動かしながら子どもの意欲を引き出す。安心して声や体で表現できる雰囲気を作り、音楽の楽しさに繋げる。
- **活：**遊びの中で色や形に興味を持つ（環境）
環：色合いや形等に配慮しながら玩具を用意し、「赤だよ」「丸あったね」等と言葉かけしながら色や形への興味、遊びに繋げていく。
- **活：**保育者が正月遊びをする様子を見て興味を持ち、遊んでみようとする（環境）
環：1歳児でも遊びやすい正月遊び（お手玉や福笑い、凧あげ等）を取り入れ、保育者が遊ぶ姿を示すことで、興味や遊ぶ楽しさ、正月遊びに触れる機会に繋げる。
- **活：**保育者の仲立ちのもと、友達と玩具のやりとりをする（人間関係）
環：「かして」「ありがとう」と言葉や身振りで伝えられるよう保育者が仲立ちをし、やり取りをする時に必要な言葉や身振りがあることを丁寧に知らせる。また、やりとりをする喜びに繋がるよう関わる。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 下痢や嘔吐、流行性の風邪が流行りやすい時期なので、一人ひとりの体調をよく観察する。
- 身体を動かして遊ぶ際には、ぶつかっても危険なものがないようにしておく。また、できる限り広々とした場所で行えるようにする。
- 興味のある遊びに夢中になれるよう、コーナーを作るなど環境を整えておく。
- 気持ちが表現できずに叩いたり噛み付いたりしてしまう子もいる。怪我のないよう子ども同士の関わりに気を配るようになる。
- 体調不良が疑われる際には職員同士で連携を取り、迅速に対応していく。
- 室外の寒さだけでなく室内の温度や湿度にも気を配り、暑過ぎたり寒過ぎたりせずに快適に過ごせるよう配慮する。
- 一人ひとりの生活リズムに留意し、食事や睡眠の時間を調整することで心地よく健康に過ごせるようにする。
- 餅を食べる際には、咀嚼を促しながら、誤飲に留意して見守る。
- 顔色や遊びの様子から適宜衣服を調整し、健康に過ごせるようにする。体温調節機能の発達のため、なるべく薄着を心掛ける。
- 水や汁物等で床が濡れていることのないようその都度拭き取り、怪我予防に努める。
- 衣服の袖や裾の長さに気を付け、引っかかったり、転倒することのないようにする。
- 爪の長さを確認し、衛生面や安全面に留意する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- つくって遊べる凧製作／だるまさん絵本製作／毛糸で雪の結晶製作

歌

- ゆき／ゆきのこぼうず／どこでねるの

絵本

- うしろにいるのだあれ／もじゃもじゃ／おててがでたよ

手遊び

- トントントントンひげじいさん／いとまき／てんぐのはな

室内室外遊び

- ハイハイ鬼ごっこ／洗濯ばさみで遊ぼう／はさみ不使用！簡単凧揚げ

行事

- お餅つき
- 誕生会
- 避難訓練
- 元日(1月1日)
- 書き初め(1月2日)
- 人日の節句(1月7日)
- 鏡開き(1月11日)
- 成人の日(1月第2月曜日)

食育

- 野菜を使ってスタンプ遊びなどを行い、苦手な野菜にも親しみを持つ。
- お餅に触れ、柔らかい触感やもちもちした食感を体験する。
- お手ふきなどで時々手を拭きながら食べ、きれいに食べ進めることに心地良さを感じる。
- スプーンやフォークを使って食事をすることを楽しむ。
- 「人参あった」「おいしい」等、気付きを言葉にしながら食べることを楽しむ。
- 保育者に励まされたり、友達が美味しそうに食べる様子を見て、苦手な食材も食べてみようとする。

地域と家庭との連携

- 連休明けで不安になりやすいことを伝え、生活リズムを整えながら過ごしてもらえよう願う。
- 風邪や感染症が流行りやすい時期であるため、小さな体調の変化でも家庭と情報を交換し合うよう努める。
- 衣類の着脱など子どもが自ら行おうとする様子があることを伝え、自分で着脱を行いやすい衣類を選んでもらえるようお願いしていく。また、家庭でも褒めたり励ましたりし、意欲を認めてもらえるようにする。

- 休み中の体調面や過ごし方等について共有するとともに、休み明けの園での様子を丁寧に伝える。
- スタンプ遊びをする際には、汚れても良い衣服の用意をお願いする。
- 地域の方と年始の挨拶を交わし、今後も良い関係で交流を図っていけるようにする。

自己評価

- 子どもが友達と関わりを持つことができたか。
- 意欲的に食や着替えを進め、保育者に援助されながら自分でやってみようとしたか。
- 簡単な言葉で気持ちを表現しようとしたか。
- 室内外で元気に遊び、身体を動かして思いっきり遊び込むことができたか。
- 言葉に親しみ、子ども自ら言葉を楽しく発する姿が見られたか。
- 休み明けの生活リズムや体調面に留意しながら健康に心地よく過ごせるよう配慮したか。
- 冬の遊びや正月遊びを楽しむ様子が見られたか。
- トイレに興味を示し、座してみたり、排泄することが出来たか。
- 一人ひとりが興味がある遊びを存分に楽しめるような環境を作れたか。
- 手遊びや歌等に親しみ、保育者の真似をしたり、発声していたか。